

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	食育推進事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	健康 部	健康医療推進 課	評価責任者(課長名)	河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	スポーツと健康づくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 19 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	食育基本法			
	4	関連計画	堺市食育推進計画(第3次)、健康さかい21(第2次)			
5	事業実施の経緯	平成17年に食育基本法が施行され、本市においても平成19年3月に堺市食育推進計画、平成24年3月に堺市食育推進計画(第2次)、平成29年3月に堺市食育推進計画(第3次)を策定し、行政と食育関係団体が連携した食育の取組を展開している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺市食育推進計画(第3次)に基づき、行政が各課で事業を展開するとともに、市民や食育関係団体との協働による食育の取組を推進し、市民が食に関する正しい知識をもち、生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育むことで、食を通じた元気なまち堺の実現をめざす。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	食育に関するイベントや食育体験教室を開催し、食の大切さや食に関する正しい知識の普及啓発を行う。また、食育推進ネットワーク会議を開催し、行政と食育関係団体が食に関する情報を共有し、協力・協働して食育推進活動に取り組む。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () (株)堺ファーム					

Ⅲ. 投入量

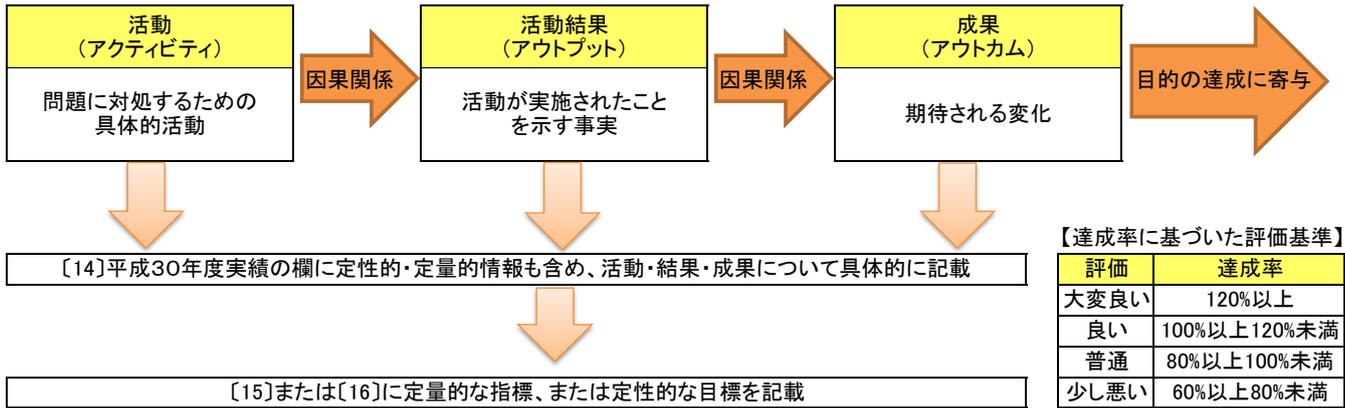
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	7,363	5,009	5,599	5,454	
主な事業費内訳	食育推進イベント委託料	千円	3,400	3,397	3,399	3,400
	報償費	千円	397	271	284	334
	需用費	千円	1,215	1,152	1,734	1,436
		千円				
	財源内訳	千円				
国・府支出金	千円					
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円					
市債	千円					
その他()	千円					
一般財源	千円	7,363	5,009	5,599	5,454	
12 人件費 (b)	千円	12,300	9,050	9,050	8,950	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	19,663	14,059	14,649	14,404	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	食育推進事業	シート番号	11-197
-------	--------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>14 食育に関するイベントや食育体験事業は、市民1人ひとりが自らの食について考え、見直し、健全な食生活に基づいて学べるよう実施した。食に関するや体験や、調理実習を通じて、子どもの心身の発達には食育が必要であること、食生活の乱れが生活習慣につながること等の啓発を行った。 食育に関するイベント：市役所において食育パネル展(6月)やハーベストの丘でさかい食育わんだーらんど(12月)等のイベントを開催 食育体験事業：各保健センターや地域の講座等において随時開催</p>							
	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	15 食育体験事業の開催回数	回	目標値		70	70	70	70
			実績値		53	69	71	
			達成率		76%	99%	101%	
			評価		少し悪い	普通	良い	
	算出方法・設定根拠など		親子クッキング等食育体験教室の開催回数					
	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	16 食育体験事業の参加者数	人	目標値		7,000	7,000	7,000	7,000
			実績値		6,199	6,584	6,707	
			達成率		89%	94%	96%	
			評価		普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		親子クッキング等食育体験教室参加者数、さかい食育わんだーらんど参加者数					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	食育体験事業の開催回数は、目標を達成することができた。 また、食育推進ボランティアの協力も得て、市民への積極的な参加勧奨を行っており、食育体験事業の参加者数は目標値にむけて年々増加していることから、事業の有効性が高い。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。